

🚢 診断を受けたら

若年性認知症と診断を受けたら、医療助成や福祉サービスなど必要な手続きをしましょう。

☆気づきからのフロー図（就労中の人）

家族・職場等からの気づき、本人の生活・仕事上での困りごとの自覚

※相談窓口にご相談

受診

※自立支援医療（精神通院）の申請手続き

診断

※精神障害者保健福祉手帳の申請手続き（初診日の6ヵ月後から申請可）

職場への相談

配置転換等での仕事の継続

休職

※傷病手当金の請求

復職

退職

※雇用保険受給手続き

再就職や福祉制度の活用

※ジョブコーチの活用
障害者制度の活用

その他活用できるもの

わかみや会（若年性認知症交流会）

ご本人や家族の情報交換・相談の場です。

開催日時：毎月第2木曜日13:30～15:30

場所：西宮市総合福祉センター別館2階会議室

会費：1回1人100円

問い合わせ先

☎0798-23-1140 西宮市社会福祉協議会

若年性認知症支援ガイドブック

若年性認知症の人と家族に必要な制度やサービスなどの情報が集められています。西宮市のホームページからダウンロードできます。またご連絡いただければお送りします。

問い合わせ先

☎0798-23-1140 西宮市社会福祉協議会

介護保険の認定申請

40歳以上で認知症が原因で支援や介護が必要な方は申請し、介護認定ができれば利用できます。

問い合わせ先

☎0798-35-3133 西宮市 高齢福祉課

若年性認知症を知っていますか

～自分らしく生きるために～



西宮市観光キャラクター みやたん
みやたん

西宮市





若年性認知症をご存知ですか？

18歳から64歳までの認知症を若年性認知症と呼びます。

認知症はお年寄りの病気と思っておられるかもしれませんが、実は若い人もかかる病気です。西宮市でも約200人以上の若年性認知症の人がおられると推定されます。

初期の症状は、もの忘れが目立たない場合があります、**うつ・更年期障害・体調不良**と間違われることもあります。早く気付いて、相談することで自分や家族に必要な制度やサービスについての情報を得たり、同じ立場の人からの経験談や意見を聞く機会が出来るので、前向きに今後のことを考えていくのに役立ちます。



思い当たることはありませんか？

- 仕事上での失敗が増えた。
- 複数の作業を同時並行出来なくなる。
- 仕事や作業などの段取りが悪くなる。
- お金を無計画に使う。
- スケジュール管理が適切に行えない。
- 夜眠れない。
- イライラする。
- 自信がなく、やる気が出ない。
- 考えがまとまらない。
- 特定のメニューしか作らない。



どうすればいいの？



思い当たる事がある場合、具体的にどうすればよいのでしょうか？

①まず、相談しましょう

下記の相談窓口电话咨询して下さい。
絶対に一人で抱え込まないようにしましょう。
特に仕事に就いている方は退職する前に相談しましょう。

相談窓口

■ 西宮市認知症地域支援推進員

若年性認知症の人と家族への個別支援を
関係機関と連携しておこなっております。

西宮市高齢者あんしん窓口

高須 ☎ 0798-44-4505 (平日9時～17時)

甲山 ☎ 0798-71-9904 (平日9時～17時)

■ 西宮市社会福祉協議会(福祉総合相談)

☎ 0798-23-1031 (平日9時～17時)

■ 西宮市役所(平日9時～17時)

地域共生推進課 地域福祉推進チーム ☎ 0798-35-3079

高齢福祉課 高齢事業チーム ☎ 0798-35-3150

障害福祉課 窓口第1・第2チーム ☎ 0798-35-3757

介護保険課 給付・適正化チーム ☎ 0798-35-3048

■ 保健所

健康増進課 精神・地域保健チーム ☎ 0798-26-3160

②医療機関を受診しましょう！

躊躇する気持ちは大なり小なりあります。

しかし、勇気をだして医療機関を受診し、認知症かどうかを診てもらいましょう。認知症も他の病気と一緒に、早期発見・早期診断・早期治療がとても重要です。

どこに行ったらいいの？

- かかりつけ医がいる人は、かかりつけ医を受診し相談する。
- かかりつけ医がいない人は、専門医を受診する。
*若年性認知症支援ガイドブックに相談できる医療機関を掲載していますので、参考にして下さい。
- 就労中の方で、会社に産業医がいる場合は、産業医に相談しましょう。

受診時に気をつけること。

受診時に、医師に具体的に症状や状態を伝えましょう。

- いつ頃からどのようにして症状が出てきたのか？
- どんな症状があって、何に困っているか？
- 今までにかかった病気、治療中の病気があるか？
- どんな薬を飲んでいるか？

◆ 症状や状態を箇条書きにして整理してみましょう。

